

関連項目：教育活動プラン③

## 琴南っ子当たり前5か条を通して主体性を育てる

### 目的

児童が守るべききまりの多くは、教師が考え作成する場合が多いのではないかと。本校も昨年まではそうだったが、達成率は十分でなかった。そこで、児童自身に守るべききまりを考えさせることで、守ろうとする意欲を高め、達成率100%の当たり前を目指したいと考えた。

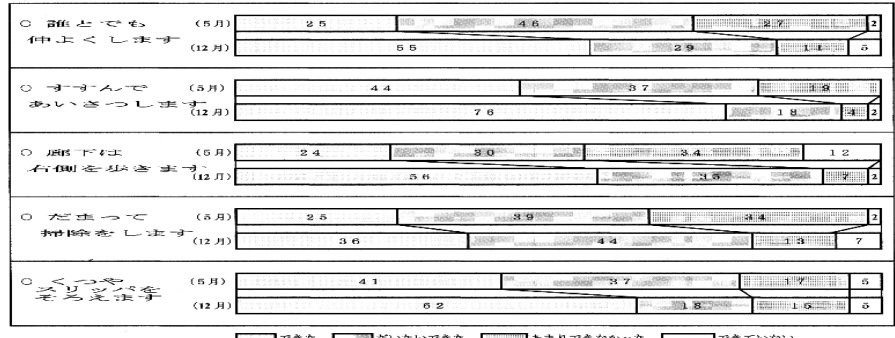
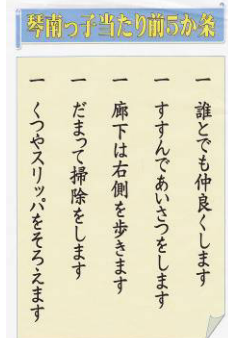
### 内容

#### ● 琴南っ子当たり前5か条の取組

「みんなが気持ち良く過ごすことのできる琴南小学校になるために、どんなことを守ればよいか」について一人一人が考えてほしいと、児童会が中心となって呼びかけ、6月3日の全校集会で話し合った。そこで出た考えを、児童会役員を中心に大きく5つにまとめた。今までは、教師側から示していたが、自分たちで考えたきまりなのだから、全員が守れるようにならなければいけないのではないかとということで、「琴南っ子当たり前5か条」として決定した。

その後、達成率100%の当たり前になるよう、それぞれのきまりを中心となって守りますと立候補した児童をリーダーとし、児童自ら決めたきまりを児童が率先して守ろうとする姿が見られた。

「琴南っ子 当たり前5か条」取り組みの変容についての アンケート



#### ● リーダーによる取組

児童自らが考えた（琴南っ子当たり前5か条）のきまりを、委員会や上級生といった対象の枠を外して、全校生の中から、きまりが守っていけるように、五つの項目のリーダーとしてがんばるという児童を募り、リーダーを中心に取組むこととした。

- 仲よしリーダー（全校生が仲よくなれるように、月1回、昼休みに仲よしタイムを企画し、ゲームやソフトドッジボールを行った。）
- あいさつリーダー（朝のあいさつ運動を行う。学級会で話し合い参加を決めた5年生は、手作りたすきを作って、あいさつ運動に参加した。）
- 歩行リーダー（右側歩行のポスターを作成し、呼びかけを行ったり、手本となるように自分が実践したりして、意欲の向上をめざした。）
- 清掃リーダー（自分が清掃の時間に注意していることを紹介したり、環境委員会に協力したり、日常活動で手本になるよう取組んだ。）
- 整頓リーダー（靴箱やトイレのスリッパの整頓を呼びかけ、気付いた乱れは積極的に直すようにした。）  
1年生から6年生まで20人の児童が、自分で考えた方法で、この5か条の項目を全校生が守れるように取組んだ。このように、自分がリーダーであることを宣言して、意欲をもって活動を行い、友達から感謝されることで、達成感や有用感を持つことができた。また、他の児童も、自分が取組みを変えた時リーダーから感謝の言葉をもらい、充実感を得られる子も多かった。

### 成果

自分たちで決めたきまりということで、守らなければという意識が、今まで以上に児童から感じられる。トイレのスリッパや靴箱の靴の整頓もずいぶんよくなってきている。また、乱れているスリッパを進んで直している児童の姿も見られる。2学期末の「当たり前5か条」の取組のアンケート調査では、2～6年児童59名中、自分ができるようになったという自己肯定感をもつ児童は40名と増え、自己否定的な児童は19名に減っていた。「琴南っ子当たり前5か条」への取組みが児童の主体性を育てるのに大変有効であったと考えられる。